

## 令和元年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

受賞者：厚生労働大臣賞（入選）  
三浦 誠 氏

所属：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部  
北海道職業能力開発大学校

テーマ：職業能力開発の実践

論文名：ポリマーデシカント材を適用した調湿建材に関する研究および開発教材によるアクティブ・ラーニングの実践



### 受賞者からのメッセージ

この度の職業能力開発論文コンクールにおいて、栄誉ある厚生労働大臣賞(入選)を加藤勝信厚生労働大臣から直々に賜りましたこと、身に余る光栄で嬉しく思っております。

本論文は建築環境工学分野における共同研究の成果を職業能力開発大学校の講義に取り入れるため、アクティブ・ラーニング用の教材開発を行い、その効果を検証したものです。

論文前半の「ポリマーデシカント材を適用した調湿建材に関する研究」については、水蒸気を化学吸着するポリマーデシカント材を活用し、珪藻土などの天然素材よりも高い吸放湿性と繰り返しの安定性が期待できる新たな調湿建材の開発を試みました。その結果、実験棟による実証実験においても相対湿度の変動が緩和され、安定した吸放湿性能が確認できました。本研究は室内気候研究所、主席研究員の石戸谷裕二先生との共同研究による成果であり、多大なるご支援とご指導を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。また、ポリマーデシカント材をご提供いただきましたJ S R株式会社様、真摯に実験に取り組んだ卒業生の皆様に御礼申し上げます。

論文後半の「教材開発によるアクティブ・ラーニングの実践」については、平成28年度に職業能力開発総合大学校、高度養成課程、応用研究科(応用課程研修)在学中に学んだ「応用課程の考え方」にある学生のヒューマンスキルやコンセプチュアルスキルの養成に着目し、学生が主体的・能動的に学ぶアクティブ・ラーニングの実践と検証を行ったものであり、従来型の講義形式の学習方式に比べ、高い学習効果を見出すことができました。本論文は応用

課程研修中の研究論文を再編成したものであり、当時、ご指導を賜りました職業能力開発総合大学の橋本幸博教授をはじめ、諸先生方に心より感謝申し上げます。

最後に、私がこれまで職業訓練指導員として、職業能力開発を实践する上で座右の銘としてきた山本五十六の言葉を紹介します。

『やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ』

しかし現在、職業能力開発大学校で応用課程を担当するようになり、この論文を通して、学生が主体的に能動的な学び（アクティブ・ラーニング）を实践できるよう、以下のように考え方を少し変え、日々、学生と向き合っています。

『させてみて 考えさせて 話し合い 納得できねば 人は動かじ』

ありがとうございました。